

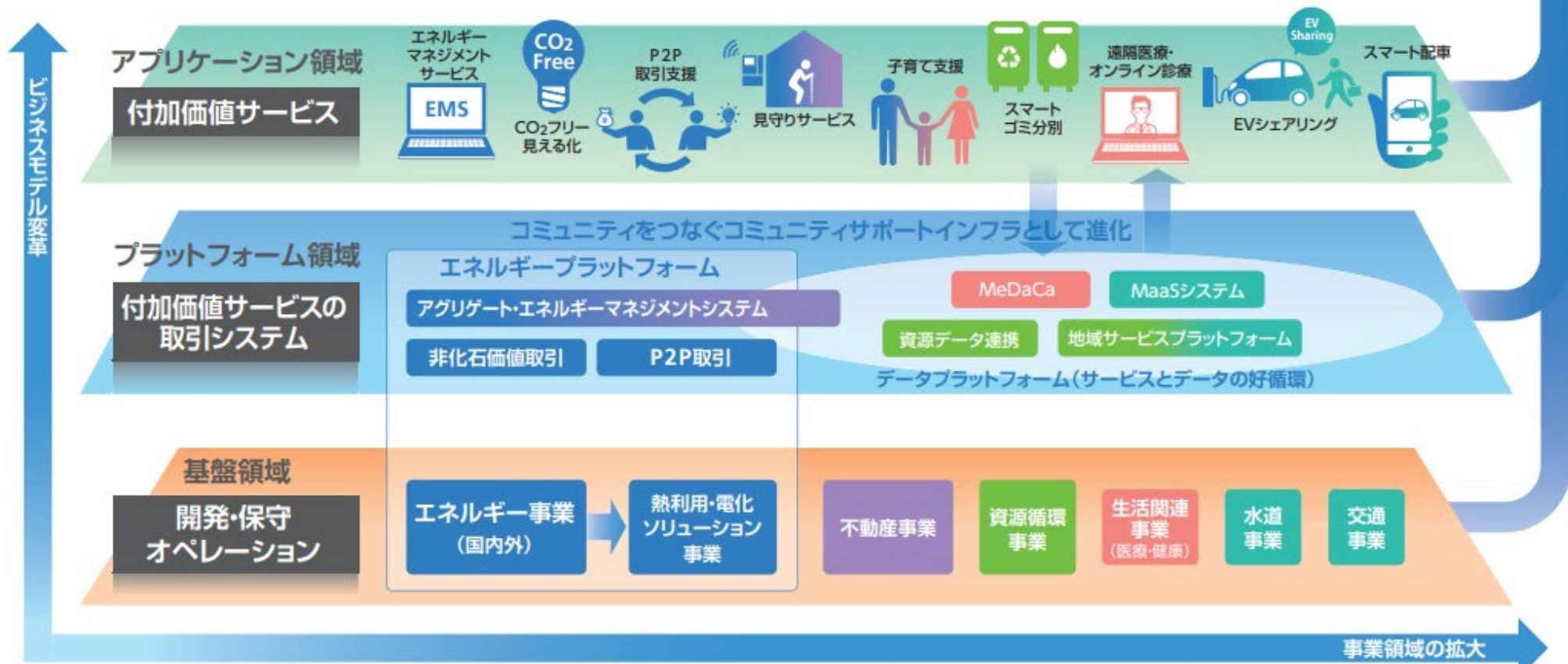
e フレイルナビの現状と目指す将来像

2024年12月20日
中部電力株式会社

01 2030年に向けた当社グループの取り組み

当社グループがお届けする価値

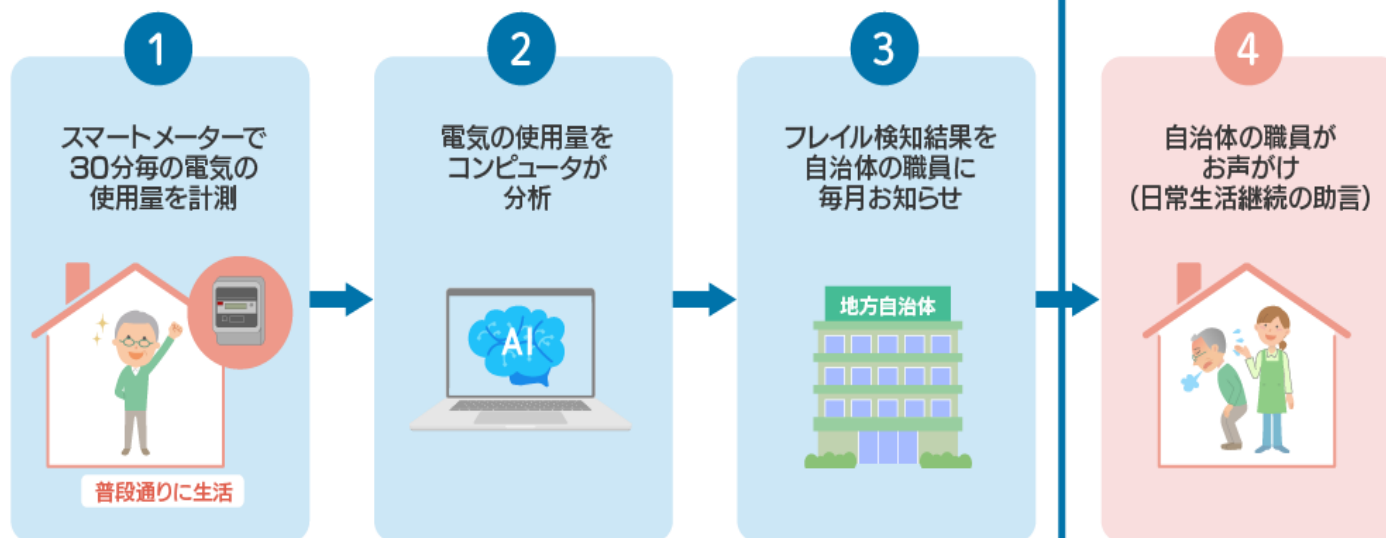
地域社会・お客さまの多様なニーズ



「中部電力グループ 経営ビジョン2.0」より抜粋

02 eフレイルナビの現状

- 当社は、電力スマートメーターで計測した電力使用量をAIにより分析することで、フレイルを検知する、自治体向けサービスである「**eフレイルナビ**」を2023年4月より展開している。



スマートメーターの電力データを活用した**国内初自治体向けサービス**

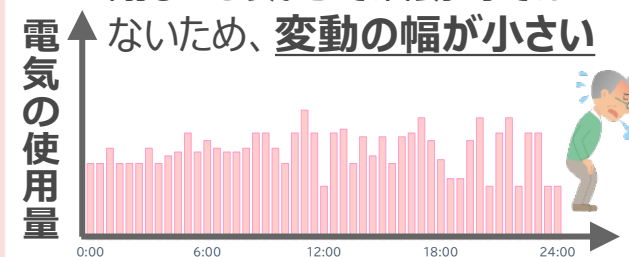
第6回日本オープンイノベーション大賞
「選考委員会特別賞」受賞

**三重県東員町や長野県松本市をはじめ
全国13自治体で採用、順次拡大中**

フレイルリスク判定の仕組み

フレイルの人

閉じこもりがちで活動的ではないため、**変動の幅が小さい**



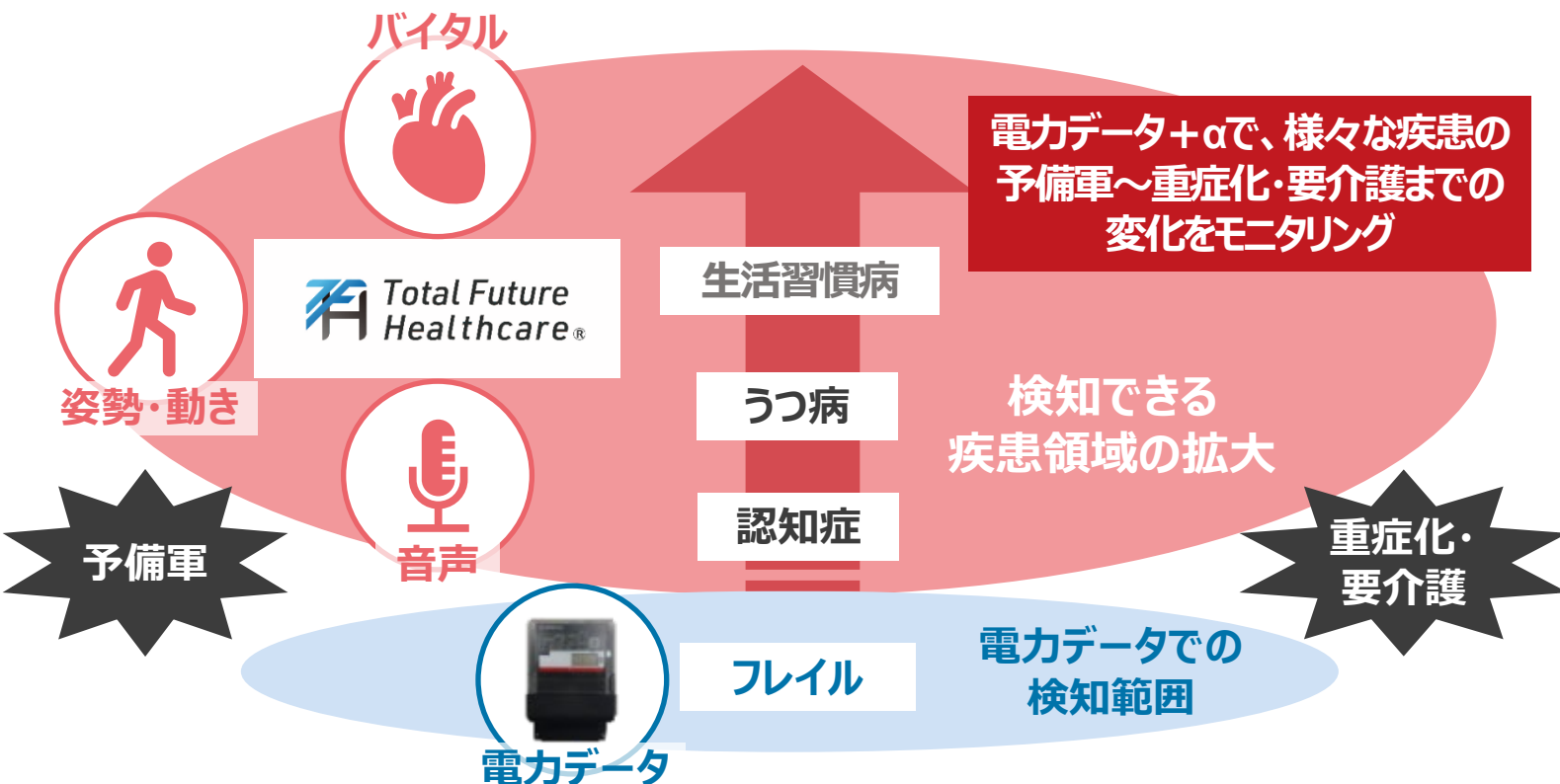
健康な人

外出や宅内活動があるため、**変動の幅が大きい**



03 目指す将来像（1/2）

- 当社は、フレイル検知で得た知見や技術を進化させ、地域社会やお客さまに新たな価値をお届けするため、**10月にトータルフューチャーヘルスケア社と資本業務提携を締結**した。
- 今後、当社の電力データ解析技術とトータルフューチャーヘルスケア社のセンシング技術を掛け合わせ、**検知可能となる疾患を「フレイル」以外にも拡大**するための共同開発を進めていく。

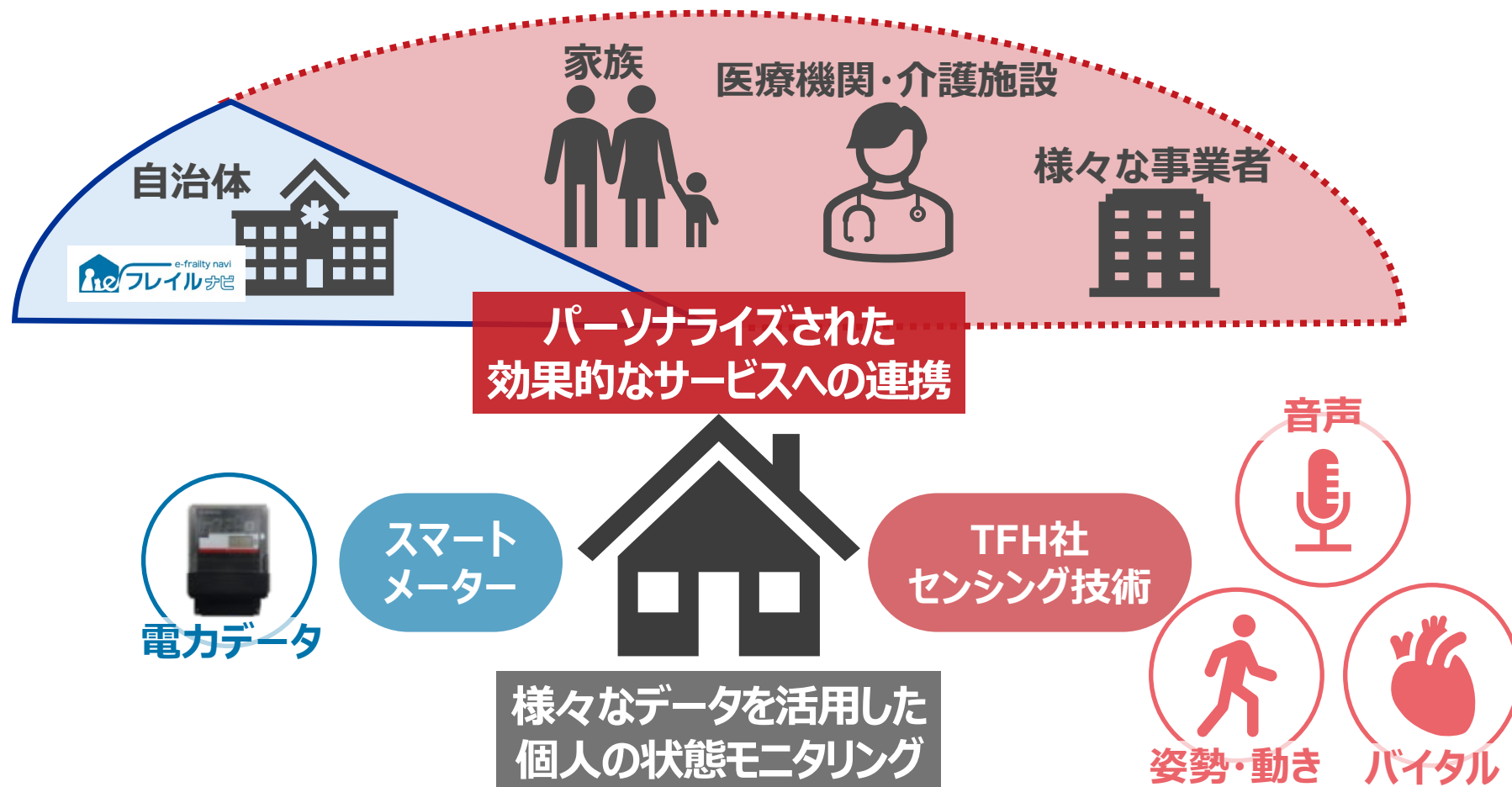


トータルフューチャーヘルスケア社

2023年4月設立。センサーによる転倒検知や顔画像によるバイタル測定、音声による疾患検知等、国内外の技術を活用し、生活空間で発生する転倒等の急変や認知症等の疾患リスクの早期発見モデルの社会実装に取り組んでいる。

04 目指す将来像（2/2）

- 検知したデータから予兆を見逃さず、適時適切に**必要な医療やパーソナライズされた効果的なサービスにお繋ぎできる仕組みの構築**を目指す。





中部電力